

# 電子レンジ

## 掲載製品

オープン機能がついていない単機能レンジ、オープンレンジを掲載しています。ガスオープンを有するもの、業務用のもの、定格入力電圧が200V専用のもの、庫内高さが135mm未満のもの及びシステムキッチンその他のものに組み込まれたものは対象外です。

## 区分

オープン機能の有無、加熱方式、庫内容積によって区分しています。

単機能レンジ
オープンレンジ 庫内容積30L未満ヒーターの露出があるもの
オープンレンジ 庫内容積30L以上ヒーターの露出があるもの
オープンレンジ 庫内容積30L未満（ヒーターの露出があるもの以外）
オープンレンジ 庫内容積30L以上（ヒーターの露出があるもの以外）
オープンレンジ 熱風循環加熱方式

\* 庫内に噴出した熱風を循環させて加熱する方法を熱風循環加熱方式（コンベクション）といいます。ヒーターを有する熱風循環加熱方式のものは、「熱風循環加熱方式」に含まれます。

## 一覧表の各種表示について

### ● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、電子レンジの目標年度は2008年度です。

### ● ラベル印刷

省エネラベリング制度、目安年間電気代を表示した省エネラベル（簡易版ラベル）を印刷できます。

### ● 省エネルギーラベリング制度

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準（トップランナー基準）を達成しているかどうかをラベル（省エネルギーラベル）に表示するものです。

### ● 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した（省エネ基準達成率100%以上）製品についてはグリーンマーク（●e）が表示され、未達成（省エネ基準達成率100%未満）の製品についてはオレンジ色のマーク（○e）が表示されます。

### ● 省エネ基準達成率(%)

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。電子レンジは、機能、加熱方式、庫内容積により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

### ● エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器毎に定められています。電子レンジは年間消費電力量（kWh/年）で表します。

### ● 年間消費電力量(kWh/年)

電子レンジ機能、オープン機能及び待機時のそれぞれの消費電力量を測定し、家庭における使用実態をもとに算出して合計した値を、小数点以下1桁まで表示しています。

年間消費電力量(kWh/年) = レンジ部の年間消費電力量 + オープン部の年間消費電力量 + 待機時の年間消費電力量

※次ページのQ&Aを参照してください。

### ● 1年間の目安電気料金(円)

1 kWhあたり27円（税込）（公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価）として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

$$\text{1年間の目安電気料金 (円)} = \text{期間消費電力量 (kWh)} \times \mathbf{27} \text{ (円/kWh)}$$

## ● 総庫内容量(L)

JISの測定方法に基づき、測定した数値です。

## ● レンジ部の年間消費電力量(kWh/年)

上記の式により求めた数値を小数点以下1桁まで表示しています。

※下記Q&Aを参照してください。

## ● オープン部の年間消費電力量(kWh/年)

上記の式により求めた数値を小数点以下1桁まで表示しています。

※下記Q&Aを参照してください。

## ● 待機時消費電力ゼロ

使用していないときに自動的に電源を切る等により、待機時消費電力を0.05W未満になることを表しています。

## ● インバーター

家庭用電源を高周波に換え制御することで、出力を自由にコントロールできる技術です。

## ● 本サイト掲載日

製品の登録日を掲載し、機種名(型番)の前に「New」を付けて、掲載日より1ヶ月表示します。並べ替え機能で新着情報を上から順に並べ替えることができます。

## ● 更新日

製品情報に修正が入った際の更新日を掲載し、機種名(型番)の前に「Update」を付けて、更新日より1ヶ月表示します。ただし、本サイト掲載日から1ヶ月以内の更新は、「New」が優先されます。並べ替え機能で更新日順に並べ替えることができます。

## ● JANコード

国際的な共通商品コードです。13桁の数字で表示し、その商品がどこの国の、どこの企業の、どの商品であるかを識別できます。

## Q&A

### 電子レンジの年間消費電力量は、具体的にどのように算出するのですか？

▶レンジ機能の一定質量の食品の加熱に要する消費電力量、オープン機能の1回あたりの消費電力量、1時間あたりの待機時消費電力量を測定し、アンケート調査(一般財団法人 省エネルギーセンター実施「電子レンジの使用実態アンケート調査」)により求めた年間加熱回数等をもとに算出します。オープン機能の年間加熱回数は31回、年間待機時間は6,400時間です。

#### ■ 電子レンジ機能の平均的な使用実態

加熱メニュー	実容器の種類	1回あたりの加熱質量 (g)	年間あたりの加熱回数 (回/年)	実容器の種類	1回あたりの加熱質量 (g)	年間あたりの加熱回数 (回/年)
冷蔵食品の加熱	大皿・丼 (陶器)	285	363	中皿・茶碗 (陶器)	125	314
冷凍食品の加熱	大皿・丼 (陶器)	285	99	中皿・茶碗 (陶器)	125	115
生もの(冷凍)の解凍	大皿・丼 (陶器)	245	55	中皿・茶碗 (陶器)	125	13
飲み物の加熱	コップ (ガラス)	185	205			

年間消費電力量 (kWh/年) = レンジ部の年間消費電力量 (kWh/年) +  
オープン部の年間消費電力量 (kWh/年) +年間待機時消費電力量 (kWh/年)

レンジ部の年間消費電力量 (kWh/年) = (580.8×Av285+66×Av245+571.1×Av125+205×Av185) /1000

285gの食品の加熱に要する年間消費電力量 (Wh/年) = { 363 (回/年) +2.2 (加熱係数) ×99 (回/年) } ×Av285=580.8×Av285

245gの食品の加熱に要する年間消費電力量 (Wh/年) = 1.2 (加熱係数) ×55 (回/年) ×Av245 (Wh/回) =66×Av245

125gの食品の加熱に要する年間消費電力量 (Wh/年) = { 314 (回/年) +2.1 (加熱係数) ×115 (回/年) } ×Av125 (Wh/回)  
+1.2 (加熱係数) ×13 (回/年) ×Av125 (Wh/回) =571.1×Av125

185gの食品の加熱に要する年間消費電力量 (Wh/年) =205×Av185

Av285=285gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量 (Wh/回)

Av245=245gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量 (Wh/回)

Av125=125gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量 (Wh/回)

Av185=185gの食品の加熱に要する1回あたりの消費電力量 (Wh/回)

オープン部の年間消費電力量 (kWh/年) =31×B/1000

B=オープン機能の加熱に要する1回あたりの消費電力量 (Wh/回)

年間待機時消費電力量 (kWh/年) =6400×C/1000

C=1時間あたりの待機時消費電力量 (Wh/時)

## 上手な選び方

調理方法に応じて、  
家庭に合った機種を選ぶことが大切です。

### 年間消費電力量

家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。レンジ部の消費電力量の他に、オーブンを利用することが多い場合は、オーブン部の消費電力量にも注目しましょう。

### 省エネ基準達成率

オーブン機能の有無、加熱方式、庫内容積が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。機能、加熱方式、庫内容積により分けられた区分毎に、目標基準値が設定されています。

### 待機時消費電力ゼロ

使用していないときに自動的に電源を切る等により、待機時消費電力をゼロにします。

### 総庫内容量

家族の人数や設置スペースに合った大きさを選びましょう。

### オーブン部の加熱方式

- 上下ヒーター式…ヒーターが庫内に露出しているものと、ヒーターが庫内に露出していないものがありますが、いずれも輻射熱で食品を加熱します。
- 熱風循環式…ヒーターの熱をファンで庫内に送り込み循環させて、食品を加熱します。

### レンジ機能のセンサー

- 赤外線センサー…食品の表面温度をはかりながら、食べごろの温度まで加熱します。
- 重量センサー …食品の重量をはかり、加熱時間を調節します。
- 湿度センサー …食品から出る蒸気量ををはかり、加熱時間を調節します。

## オーブン・グリル機能

1台でいろいろな調理を短時間でできるための機能を備えたものもあります。

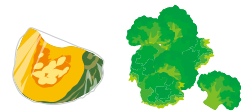
- オープン二段調理…一度にたくさんの量を調理することができます。
- グリル両面焼き…ムラをおさえ、裏返す手間がなく、調理時間を短縮できます。

## 上手な使い方

野菜の下ごしらえや冷凍食品のあたため等に利用しましょう。

### 電子レンジでおすすめの使い方

野菜などの下ごしらえに電子レンジを使いましょう。時間短縮にもなり、ビタミンCの損失が抑えられます。



※「家庭の省エネ徹底ガイド」のデータを引用。

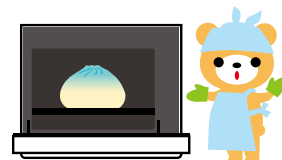
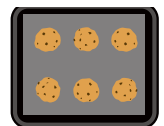
液体の食品をあたためるときは、丸い容器に入れ、途中でかき混ぜると、ムラをおさえ、速く加熱できます。



あたためるときは、食品の加熱しすぎに注意しましょう。時間設定は短めにして様子を見ながら加熱しましょう。

### オーブン調理でおすすめの使い方

オーブンで調理するときは、なるべく大きさや厚さをそろえ、ぎっしり並べすぎないようにしましょう。



オーブンで調理中は、ドアを頻繁に開閉したり、長時間あけておいたりしないようにしましょう。

(庫内の温度が下がり調理時間が長くなることとなります)